現代中国の日本語教育史

—大学専攻教育と教科書をめぐって—

田中祐輔

国書刊行会

現代中国の日本語教育史

—大学専攻教育と教科書をめぐって—

田中祐輔

国書刊行会

〈著者略歴〉

田中祐輔（たなか ゆうすけ）

1983年神奈川県生まれ。2007年筑波大学日本語・日本文化学類卒業。2009年早稲田大学大学院日本語教育研究科修士課程修了。2013年同博士後期課程修了、博士（日本語教育学）。

2009年-2011年中国復旦大学日本語学科専任講師、2011年-2013年日本学術振興会特別研究員、2013年早稲田大学大学院日本語教育研究科助手を経て、2013年9月より東洋大学国際センター専任講師、現在に至る。専門は日本語教育史、教材研究。

主な著書・論文に、『データに基づく文法シラバス』（共著：くろしお出版）、「日本の国語教科書は中国の大学専攻日本語教育においてどのように用いられているのか」（『文学・語学』210、2014）、「中国における日本語教育論議の現代史」（『日本語教育』156、2013）、「中国の大学専攻日本語教育における『国語教育』」（『国語科教育』74、2013）、「中国の大学専攻日本語教科書に見られる日本の小・中・高等学校国語教科書との近似性の実態」（『計量国語学』28巻8号、2013）などがある。

現代中国の日本語教育史
—大学専攻教育と教科書をめぐって—

著　者——田中祐輔

2015年10月1日　初版第一刷　発行

発行者——佐藤今朝夫
発行所——株式会社国書刊行会
〒174-0056
東京都板橋区志村1-13-15
電　　話　03-5970-7421
ファックス　03-5970-7427
http://www.kokusho.co.jp

装幀・造本——長井究衡

印　刷——エーヴィスシステムズ株式会社
製　本——株式会社ブックアート

ISBN978-4-336-05942-0
落丁本・乱丁本はお取替えいたします。

目次

はじめに …… 3

1. 研究の背景 …… 4
1-1. 国内外における第二言語としての日本語の教育 …… 4
1-2. 中国における日本語教育 …… 4
1-3. 中国の大学専攻日本語教育と日本の「国語教育」との関わり …… 5

2. 問題の所在 …… 7
2-1. 国語教育をめぐる課題と指摘 …… 7
2-2. 国語教育との関係の実態解明の必要性 …… 7
2-3. 求められる教科書を中心としたデータに基づく研究 …… 9
2-4. 先行研究 …… 10

3. 研究の目的 …… 12

4. 研究の方法 …… 12
4-1. 共時的研究と通時的研究 …… 12
4-2. 5つの研究手法 …… 13
4-2-1. 教科書分析 …… 14
4-2-2. インタビュー調査 …… 16
4-2-3. 既存研究の言説分析 …… 18
4-2-4. ドキュメント調査 …… 25
4-2-5. 公式統計調査の二次分析 …… 26

5. 本研究の構成 …… 26

6. 初出一覧 …… 28

7. 凡例 …… 29

8. 研究助成 …… 32

序論：中国日本語教育六十年史－大学専攻日本語教育を中心に－ …… 33

1. 黎明期・揺籃期の中国の日本語教育 …… 37

1-1. 黎明期（1949-1963）…… 37
1-1-1. ロシア語教育の隆盛の中で …… 38
1-1-2. 黎明期の教師 …… 43
1-1-3. 黎明期の学習者 …… 48
1-2. 揺籃期（1964-1969）…… 51
1-2-1.「翻訳中心」型日本語教育と社会状況を反映する教育内容 …… 52
1-2-2. 揺籃期の教師 …… 54
1-2-3. 揺籃期の学習者 …… 60
1-2-4.「开门办学」と日本語教育 …… 63
1-3. まとめ …… 69
2. 復興期・確立期の中国の日本語教育 …… 70
2-1. 復興期（1970-1977）…… 70
2-1-1. 国交正常化に伴う「第一次日本語ブーム」 …… 73
2-1-2. 広く目が向けられ始めた「聴く」「話す」能力 …… 75
2-1-3. 社会情勢の影響 …… 81
2-1-4. 復興期の学習者と教師 …… 85
2-2. 確立期（1978-1989）…… 90
2-2-1.「第二次日本語ブーム」と日本語教育関連事業の活発化 …… 92
2-2-2. 日本からの教師派遣の活発化 …… 101
2-2-3. 日本からの図書・教材寄贈の活発化 …… 112
2-2-4. 大学専攻日本語教育と日本語教科書の在り方の検討 …… 118
2-3. まとめ …… 122
3. 成長期・成熟期・転換期の中国の日本語教育 …… 122
3-1. 成長期（1990-1999）…… 123
3-1-1. 官学連携による教材開発・試験実施 …… 123
3-1-2. 日本語専攻『教学大纲』の制定 …… 124
3-2. 成熟期（2000-2010）…… 127
3-2-1. 基礎段階『教学大纲』改訂・高年級段階『教学大纲』制定・
高校日语专业四级・八级考试实施 …… 128
3-2-2. 学習者の「ニーズ」への視座 …… 131
3-2-3. より広く捉えられる「日本語能力」
—「複合型」日本語人材の育成と異文化間交流の提唱— …… 132
3-3. 転換期（2011-）…… 139
3-3-1. 変質する日本語学習熱 …… 140
3-3-2. 急務とされる教育内容や教材、教授法の改革 …… 143

此为试读，需要完整PDF请访问：www.ertongbook.com

3-4. まとめ …… 146

本論 …… 149

第Ⅰ部
中国の大学専攻日本語教科書と日本の国語教科書との関わり …… 149

第一章　基礎段階用日本語教科書と
日本の小・中・高等学校国語教科書との比較
―作品・作家を中心に― …… 151

1. 研究の背景 …… 151
1-1. 大学専攻日本語教育における精読科目と教科書 …… 151
1-2. 精読用日本語教科書に掲載された作品 …… 153
2. 問題の所在 …… 154
2-1. 日本の国語教科書との関わりの実態調査の必要性 …… 154
2-2. 教科書掲載作品と作家の比較調査 …… 155
3. 研究の目的 …… 155
4. 研究の方法 …… 155
5. 結果と考察 …… 158
5-1. 掲載作品に占める「書き下ろし作品」と「引用作品」の割合 …… 158
5-2. 日本語教科書掲載作品と国語教科書掲載作品との重なり度合い …… 159
5-3. 日本語教科書掲載作品の作家と
国語教科書掲載作品の作家との重なり度合い …… 161
5-4. 小学校・中学校・高等学校のいずれの国語教科書と一致するか …… 162
6. まとめ …… 163

第二章　高年級段階用日本語教科書と
日本の小・中・高等学校国語教科書との比較
―作品・作家を中心に― …… 165

1. 研究の背景 …… 165
2. 問題の所在 …… 167
2-1. 高年級段階精読用日本語教科書と日本の国語教科書との関わりの

実態調査の必要性 …… 167
2-2. 高年級段階精読用日本語教科書の作品と作家の比較調査 …… 167
3. 研究の目的 …… 167
4. 研究の方法 …… 168
5. 結果と考察 …… 170
5-1. 日本語教科書掲載作品と国語教科書掲載作品との重なり度合い …… 170
5-2. 日本語教科書掲載作品の作家と国語教科書掲載作品の作家との重なり度合い …… 171
5-3. 小学校・中学校・高等学校のいずれの国語教科書と一致するか …… 171
6. まとめ …… 173

第三章　1960年代から1980年代の中国大学専攻日本語教科書と日本の小・中・高等学校国語教科書との比較
―作品・作家を中心に― …… 174

1. 研究の背景 …… 174
2. 問題の所在 …… 175
3. 研究の目的 …… 176
4. 研究の方法 …… 176
5. 結果と考察 …… 178
5-1. 文章の種別 …… 178
5-2. 日本語原文掲載作品と国語教科書との重なり度合い …… 180
5-3. 作品・作家の重なり度合い（年代別） …… 183
5-4. 日本語教科書に複数回掲載される作家と作品 …… 184
5-5. 教科書作成に際し参照されることの多い出典 …… 185
6. まとめ …… 186

第II部
「国語教科書」との関わりを持つ「日本語教科書」の内容的実態
―掲載作品の様式と題材・設問・実践から― …… 189

第四章　高年級段階用日本語教科書と
日本の小・中・高等学校国語教科書との比較
―文章の様式・題材・年代を中心に― …… 191

1. 研究の背景 …… 191
2. 問題の所在 …… 192
3. 研究の目的 …… 192
4. 研究の方法 …… 192
5. 結果と考察 …… 196
5-1. 取り扱われる作品の様式 …… 196
5-1-1. 高等学校国語科を連想させる「評論」「随想」「小説」「古文」 …… 196
5-1-2. 半数に満たない“様式”としての「文学」 …… 197
5-1-3. 作品もしくは作家との重複 …… 197
5-2. 取り扱われる作品の初出年 …… 199
5-2-1. 1970年代・1980年代・1990年代に発表された作品が全体の半数 …… 199
5-3. 取り扱われる作品の題材 …… 200
5-3-1. 作品の題材は「文学」が62.7% …… 201
5-3-2. 題材としての「文学」に偏重し、大半は「国語教科書重複作品」 …… 201
5-3-3. 二重の偏り
―題材としては「文学」に、様式としては「評論」「随想」に偏る― …… 203
5-3-4. 国語教科書掲載作品・作家とは重ならないもの …… 204
6. まとめ …… 205

第五章　「国語教科書」と関わりを持つ
過去の中国大学専攻日本語教科書の内容的実態と変遷
―文章の様式・題材を中心に― …… 206

1. 研究の背景 …… 206
2. 問題の所在 …… 207
3. 研究の目的 …… 208

4. 研究の方法 …… 209
5. 結果と考察 …… 212
5-1. 過去の日本語教科書の様式的特徴 …… 212
5-1-1. 1960年代における基礎的な日本語力の育成 …… 215
5-1-2. 1970年代に消失する国語教科書との重なり …… 216
5-1-3. 1980年代における様式の多様化と日中関係の深化の影響 …… 216
5-2. 過去の日本語教科書の題材的特徴 …… 217
5-2-1. 1960年代における「文学」中心と題材の偏り …… 219
5-2-2. 1970年代に進む題材の偏り …… 221
5-2-3. 1980年代に見られる題材の多様化 …… 222
5-3. 年代ごとの大きな変化と背景 …… 225
5-3-1. 日本語教育に求められた育成レベルと題材 …… 226
5-3-2. 国内情勢の変化の影響 …… 228
5-3-3. 日中間の本格的な交流推進と題材の多様化 …… 229
6. まとめ …… 234

第六章　日本の国語教科書は
中国の大学専攻日本語教育において
どのように用いられているのか
―教科書の設問に表れた指導内容の比較分析を中心に― …… 235

1. 研究の背景 …… 235
2. 問題の所在 …… 236
3. 研究の目的 …… 237
4. 研究の方法 …… 237
5. 結果と考察 …… 241
5-1. 教科書の構成 …… 241
5-2. 設問のカテゴリ …… 244
5-3. 設問の13区分 …… 245
5-4. 設問の13区分の内訳詳細 …… 248
5-4-1. 各教科書に占める割合の高い設問項目 …… 250
5-4-2. 双方の教科書に掲載されている設問項目 …… 250
5-4-3. それぞれの教科書特有の設問項目 …… 252
6. まとめ …… 255

第七章　中国の大学専攻日本語教育における「国語教育」の実践
—教育委員会中国日本語教師派遣事業から見る国語科教論の教育実践と求められた役割— …… 257

1. 研究の背景 …… 257
1-1. 1970年代末に活発化した教師派遣事業 …… 257
1-2. 批判された国語教育の内容と手法 …… 258
1-3. 不明確な根拠と実態 …… 258
1-4. 受け継がれる国語教育の内容と手法 …… 259
2. 問題の所在 …… 259
3. 研究の目的 …… 260
4. 研究の方法 …… 261
5. 結果と考察 …… 263
5-1. 事業内容 …… 263
5-2. 派遣教師に求められてきたもの …… 265
5-2-1.「正しい日本語」「日本人の心」の規範 …… 266
5-2-2. 実践的日本語力の養成 …… 267
5-2-3. 日本社会と文化に関する知識と情報の伝達 …… 267
5-3. 担当学年・担当科目・使用教材 …… 269
6. まとめ …… 272

第Ⅲ部
中国の大学専攻日本語教育が日本の国語教育の内容や手法と関わりを持つ背景と要因 …… 275

第八章　中国における日本語教育論議の現代史
—学術誌『日语学习与研究』(1979～2012) の分析から— …… 277

1. 研究の背景 …… 277
2. 問題の所在 …… 278
2-1. 日本語教育と国語教育の関係と教育論議 …… 278
2-2. 中国の教育思潮を分析した先行研究 …… 279
2-3. 日本語教育論議は何を語ってきたのか …… 280

3. 研究の目的 …… 281
3-1. 学術誌『日语学习与研究』(1979～2012) …… 281
3-2. どのような人々が何についてどのような指摘をしてきたのか …… 282
4. 研究の方法 …… 282
5. 結果と考察 …… 289
5-1. 日本語教育関連論文数の推移と背景 …… 289
5-2. 執筆者の所属機関の地域分布 …… 291
5-3. 研究対象とされる段階と分野 …… 293
5-3-1. 研究対象とされる高等教育機関の日本語教育 …… 293
5-3-2. 1980年代後半から見られる研究分野の多様化 …… 294
5-4. 取り巻く環境と教育論議 …… 297
5-4-1. 1979～1989
―日中関係の深化と国家建設のために― …… 298
5-4-1-1. 文学の重視 …… 298
5-4-1-2. 文化理解・コミュニケーション能力育成・国家建設 …… 299
5-4-2. 1990～1999
―基礎段階『教学大纲』の発表と中国独自の日本語教育スタイル・
コミュニケーション能力育成・文化理解・学習者中心・学習者重視― …… 299
5-4-3. 2000～2012
―基礎段階『教学大纲』の改訂と高年級段階『教学大纲』の発表― …… 300
5-4-3-1. 文学重視・研究型人材育成 …… 300
5-4-3-2. 社会ニーズへの対応・教養力・学習者主体・学習者主導・
複合型人材・日本語＋α人材・文化理解・
コミュニケーション能力育成・ビジネス日本語 …… 300
6. まとめ …… 301

第九章　中国の大学専攻日本語教科書が
日本の国語教科書と関わりを持つ要因
―国語志向と文学思想― …… 303

1. 研究の背景 …… 303

此为试读，需要完整PDF请访问：www.ertongbook.com

2. 問題の所在 …… 304
3. 研究の目的 …… 305
4. 研究の方法 …… 305
5. 結果と考察 …… 306
5-1. 文学作品に託された言葉と文化の最高表現形式としての役割 …… 306
5-2. 高度日本語人材養成の必要性と国語科教論派遣の影響 …… 310
5-3. 中立性・合理性・普遍性・規範性の見地から導入された国語教科書 …… 312
5-4. 第二言語教育の到達目標としての「国語」 …… 314
5-5. 慣習化した国語教育・国語教科書 …… 315
6. まとめ …… 316

結論 …… 319

1. 結論 …… 320
1-1. 過去から現在にかけて存在する中国の大学専攻日本語教科書と
日本の国語教科書との近似性 …… 320
1-2. 教科書の内容、指導方法、実践から見た近似性の実態 …… 321
1-3. 中国の大学専攻日本語教科書が日本の国語教科書と
関わりを持つ要因 …… 322
2. 総合考察
—中国における「日本理解」を支えた国語教育的文学教育とその形成— …… 325
2-1. 戦前に日本の「国語」を学んだ人々によって築かれた礎 …… 325
2-2. 1980年代に定着した文学教育への考え方 …… 327
2-3. 国語教育の内容や手法を用いることへの批判 …… 328
2-4. 問題とされた文学教育 …… 329
2-5. 基礎段階『教学大纲』が制定された 1990年
—コミュニケーション能力と言語能力— …… 331
2-6. 基礎段階と高年級段階の棲み分けが顕著となる2000年代
—高年級段階に含まれた文学— …… 334
2-7. 高年級段階における文学教育の位置づけと意義 …… 335
2-8. 四級・八級『考试大纲』から見る基礎段階と高年級段階との棲み分け …… 337
2-9. 担当教員から見る基礎段階と高年級段階との棲み分け …… 339
2-10. まとめ—中国の「日本理解」を支えたもの— …… 345
2-10-1. 最初期から重視され1980年代に普及した文学教育 …… 345

2-10-2. 言語教育としての日本語教育への着目と文学批判 …… 346
2-10-3. 基礎段階と高年級段階の『教学大纲』 …… 346
2-10-4. 棲み分けが生じた基礎段階と高年級段階
—「日本語教育」と「国語教育」— …… 347

3. 現代的命題 …… 349
3-1. 日本語教育が目指すべきものの再考 …… 349
3-2. データに基づく「日本語教育」と「国語教育」との複合的研究の必要性 …… 350
3-3. 不可欠な教科書研究と教育史研究 …… 351

4. 総括と展望 …… 355

5. 今後の課題 …… 360

おわりに …… 363

参考文献 …… 367

図の一覧 …… 407
表の一覧 …… 410
索　　引 …… 412

現代中国の日本語教育史

―大学専攻教育と教科書をめぐって―

はじめに

国際交流基金の調査によると、海外の国・地域として日本語学習者数が最多であるのは中国で、その数は約105万人に上り、中・上級段階に達する学習者が多い(国際交流基金，2012・2013)。中でも、高等教育機関で学ぶ学習者の割合が高く、中国の学習者全体の約65％を占めており、また世界の高等教育機関で学ぶ学習者全体の過半数が中国の学習者となっている。とりわけ、大学専攻日本語教育（大学で日本語を専攻する学生への日本語教育）は世界的に見ても量的・質的に高水準にあるが、そこで日本の「国語教育」を基盤とする文学教育が重要な役割を果たしてきたことや、それを通じた「日本理解」が推進されてきたことは、これまで十分に認識されてこなかった。

本研究は、過去から現在までに中国で利用された主要日本語教科書51冊の分析から判明した日本の国語教育との関係を出発点として、こうした教育がいかなる現状にあり、どのような背景とプロセスを経て確立されたかについて考察し、中国における深い「日本理解」を実現したものとは何かについて明らかにするものである。

また、中国における日本語教育の歴史は、中国という国が日本という隣国を理解し、共に対話を重ねたプロセスそのものでもある。本書は、これまで詳しく知られてこなかった日本語教育の歴史を通じて、中国における日本理解の深化や、両国交流の歴史の新たな側面にも光を当てるものである。

そのために、中国の日本語教育でこれまで使用されてきた日本語教科書の特徴や内容的実態、変遷、背景について教科書分析やインタビュー調査、資料調査などを通して考察する包括的な日本語教科書の史的研究を行う。

本研究は序論・本論・結論で構成され、本論は第Ⅰ部〜第Ⅲ部までの3つの部と9つの章によって成る。以下に、研究の背景、問題の所在、研究の目的、研究の方法、本書の構成、初出一覧、凡例、研究助成について述べる。

1 研究の背景

1-1. 国内外における第二言語としての日本語の教育

「日本語教育」とは、第二言語として日本語を学ぶ者への教育であり、日本国内外において実施されている。国内の日本語教育については、文化庁文化部国語課が2012年に実施した調査によると、日本語教育実施機関・施設などの数は1,995、日本語学習者数は139,613人、日本語教師数は34,392人となっている（文化庁文化部国語課，2012）。学習者の出身地域別では中国が最も多く、64,172人で、学習者全体の45.9%を占めている。

日本国外の日本語教育については、国際交流基金が行った2012年度の調査によると、海外の日本語学習者数は2012年時点で約399万人に達している（国際交流基金，2013）。諸外国との相互理解と親交を深める上で重要な意義がある日本語教育の展開と日本語学習者の増加は、「外国人の我が国及び我が国の文化芸術に対する理解の増進に資する」(p. 17) ために国策上重要であるとされている（「文化芸術の振興に関する基本的な方針（第3次基本方針）」(平成23年2月8日閣議決定)）。

1-2. 中国における日本語教育

先述したように、海外の国・地域としては、中国の学習者数が最も多く約105万人に上り[1]、「中・上級段階に達する学習者が非常に多い」[2]とされている。中でも、高等教育機関で学ぶ学習者が多く、中国の学習者全体の約65%を占めており、また世界の高等教育機関で学ぶ学習者全体の過半数が中国の学習者となっている（国際交流基金，2013）。

---

1) 中国の日本語学習者数は1,046,490人とされ（国際交流基金，2013）、「その教育機関と対象によって、正規の学校教育（小・中学校、大学）、社会人向けの成人教育（放送大学、夜間大学、大学の通信教育など）、日本語学校、企業の日本語教育などに分けられる」(劉，1996：138)。

2) 国際交流基金「海外日本語教育機関調査」2012年参照＜ http://www.jpf.go.jp/j/japanese/survey/country/2011/china.html ＞（2014年7月20日確認）。

此为试读，需要完整PDF请访问：www.ertongbook.com